

冬の通園、こんなことに気をつけましょう!

冬の通園中には、どんなことに気をつけるとよいのでしょうか? 事故を未然に防ぐため、過去の事例を参考に指導をしましょう。

❗ 凍結・積雪

雪や氷で滑ったり、積雪で道幅が狭くなったりすることに注意しましょう。

歩いて登園中、降り積もった雪の下のマンホールのような所で足を滑らせ、左足指を痛めた。
(6才・女子)

登園時、園に向かって歩いていたところ、雪が積もっており道幅が狭くなっていたため、一人で歩いていたが、凍結した路面で足を滑らせ、転倒した。
(6才・男子)

雪で凍った坂道を歩いて登園中、滑って転倒し、足に体重がかかり、右足を痛めた。
(5才・女子)

徒歩で登園中、保育園から20mほど離れた道端に寄せてあった雪山に乗ったところ、そこから滑り落ち、後頭部を打った。
(5才・男子)

自転車の前椅子に本児を乗せ、自転車を押して登園中、雪で滑り、自転車ごと転倒。
(3才・女子)



❗ 雪玉など

雪玉や氷(つららなど)で、けがをしたり、友達にけがをさせたりしてしまふことがあります。周囲の環境や子どもの行動を観察し、危険を予測した保育を行うことが大切です。

降園時、本児と弟が雪合戦を始め、弟が投げた雪玉が本児の左目に当たり泣き叫んだ。翌日夜、目の痛みと涙が出るということで保護者とともに病院で治療を受けた。
(6才・男子)

降園中、友達と雪玉を投げて遊んでいた際、左頬に当たり挫創した。
(4才・女子)



(事例は平成20年度～平成29年度災害共済給付データより)